

八日市企業景況調査報告書

(第2回)

平成29年 秋 冬 期 実 績

平成30年 春 夏 期 見 通 し

八日市商工会議所

八日市企業景況調査について

(平成29年秋冬期)

1. 調査方法

八日市商工会議所会員企業のうち小規模事業者に郵送方式による調査

2. 調査企業

産 業 別	調査対象企業数	有効回答企業数	回 収 率
製 造 業	142 社	51 社	36%
建 設 業	203 社	58 社	29%
卸 売 業	57 社	26 社	46%
小 売 業	216 社	54 社	25%
サービス業	382 社	90 社	24%
合 計	1,000 社	279 社	28%

3. 調査期間

調査対象期間は平成29年秋冬期とし、調査時点は平成30年1月15日とした。

4. 調査データについて

調査の結果を示す指数としてDI指数を採用した。DI指数とはDiffusion Index（景気動向指数）の略で、各調査項目について、「増加」・「好転」したなどとする企業割合から「減少」・「悪化」したなどとする企業割合を差し引いた数値である。

「業況」、「売上高」、「採算(経常利益)」、「従業員」のDI指数は、前年同期との比較である。

「資金繰り」、「資金借り入れの難易度」のDI指数は、6ヵ月前との比較である。

「取引の問合せ」、「採算(経常利益)の水準」のDI指数は、過去比較でなく水準を聞いたものである。

景況感は改善し製造業はプラス(前年比良化)に

平成 29 年秋冬期の八日市企業景況調査の結果がまとまった。今回は 2 回目で、前回調査と比較ができるようになった。多くの企業様から回答をいただいたので本調査は八日市地域の景況を表す指標になると考えられる。

調査結果を示す指数として DI 指数（景気動向指数）を採用している。DI 指数は実数値などの上昇率を示すものでなく、強気、弱気などの経営者マインドの相対的な広がりの意味する。

全体

平成 29 年秋冬期の景況感は、全体の業況判断 DI（前年同期比）が▲6 と前回春夏期の▲15 より 9 ポイント改善した。業種別では、製造業が+13 とプラス(前年比良化)に転じた。世界も日本も需要が拡大しておりその好影響を受けているとみられる。他の業種はマイナスながらもマイナス幅が縮小している。ただし小売業は売上が減少し厳しい状況である。全業種で人手不足が続いており「人員不足」－「人員過剰」は 30%になっている。

先行き(平成 30 年春夏期)の業況判断 DI は▲4 とマイナスながら引き続き改善すると見込んでいる。業種別では、建設業とサービス業がプラスに転じ、製造業はマイナスに戻り他の業種もほぼ今期位のマイナスになると見込んでいる。全業種で人手不足が続くとみており、特に建設業、サービス業等において深刻である。雇用問題が先行きの懸念材料になっている。

□ 業況判断 DI（前年同期比）は、前回より改善し製造業はプラスになるも小売業は厳しい

「前年同期比でみた業況判断 DI(全体)」（「好転」－「悪化」）は、今秋冬期は▲6 と前回春夏期より 9 ポイント改善した。業種別では、製造業が+13 とプラスに転じ、他の業種も概ね改善したが、小売業は売上が減少し厳しい状況である。

□ 売上 DI（前年同期比）は、前回より改善し製造業等はプラスに転ずるも小売業は減少続く

「前年同期比でみた売上 DI(全体)」（「増加」－「減少」）は、今秋冬期が▲3 と前回春夏期より 14 ポイント改善した。業種別では、製造業、建設業、サービス業はプラスに転じ卸売業も改善したが、小売業が競争激化で▲41 と大幅減少した。

□ 採算 DI（前年同期比）は、前回より製造業等は良化、改善するも小売業は厳しさ続く

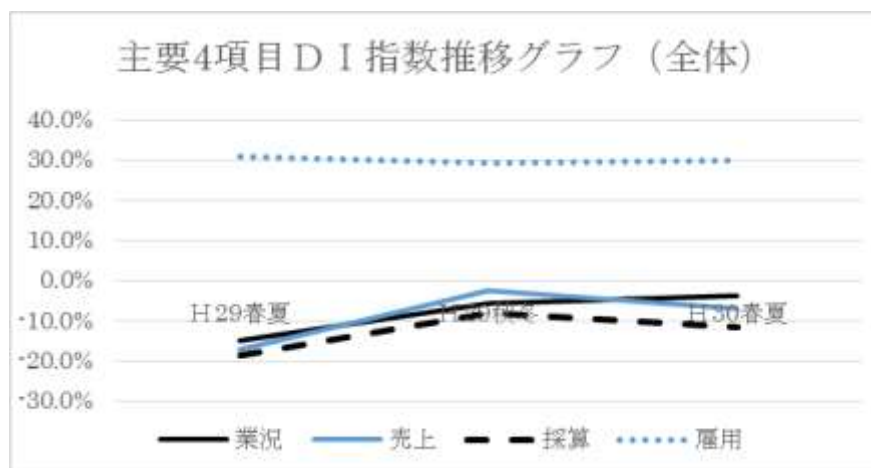
「前年同期比でみた採算(経常利益) DI(全体)」（「好転」－「悪化」）は、今秋冬期が▲8 と前回春夏期より 11 ポイント改善した。業種別では、製造業が良化し、卸売業、サービス業が改善したが、建設業がやや悪化し、小売業が競争激化で厳しい状態が続いている。

□ 資金繰り DI（6 ヶ月前比）は、全般にやや好転。製造業、建設業がプラス

「6 ヶ月前比でみた資金繰り DI(全体)」（「好転」－「悪化」）は、今秋冬期が+1 と前回春夏期より 8 ポイント好転した。業種別では、製造業、建設業がプラスであり、卸売業、小売業、サービス業はマイナスであるがマイナス幅が縮小した。

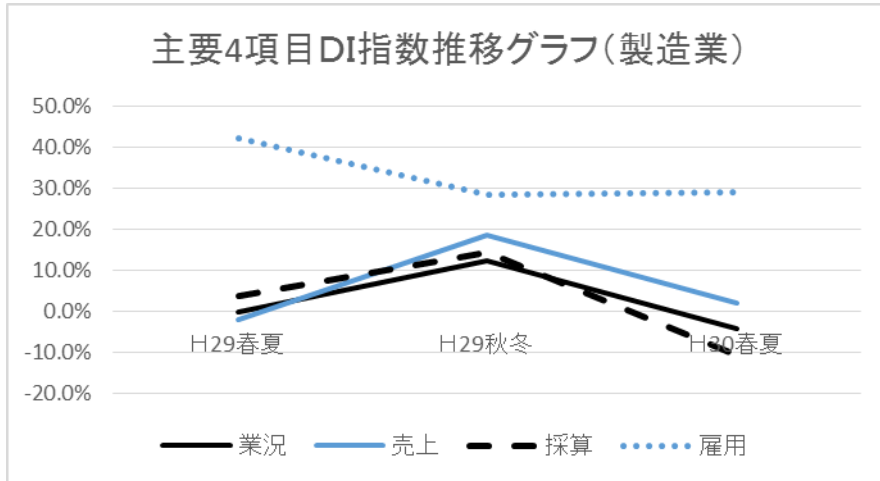
□ 従業員 DI（前年同期比）は、前回と同じく人員不足が続く。特に建設業、サービス業等

「前年同期比でみた従業員 DI(全体)」（「不足」－「過剰」）は、今秋冬期が+30 と前回春夏期とほぼ同じく人員不足が続いている。業種別では、製造業がやや緩和したが、建設業、サービス業、卸売業が+30 以上で厳しい状況になっている。



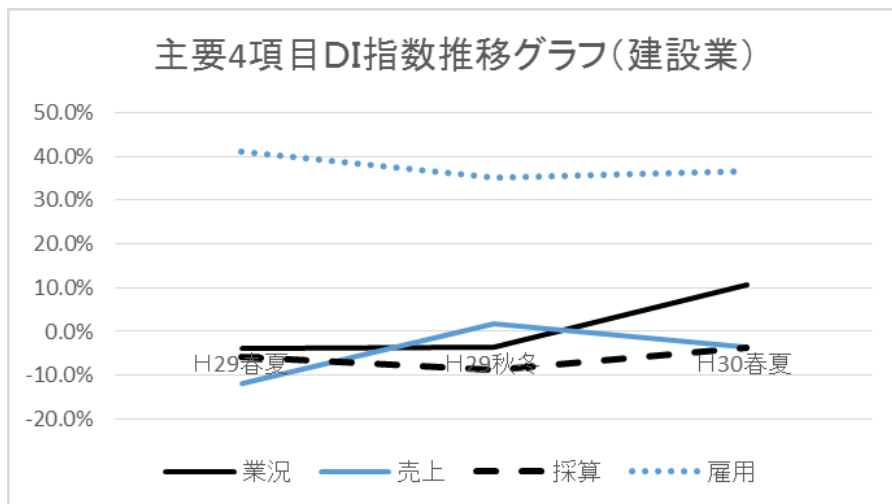
製造業

DI 指数をみると「業況」は、今秋冬期は+13 と前回春夏期より 13 ポイント改善した。個別指標をみると「売上」が同じく 21 ポイント良化し、「採算」も同じく 10 ポイント好転していることによる。世界も日本も需要が拡大しておりその好影響を受けているとみられる。



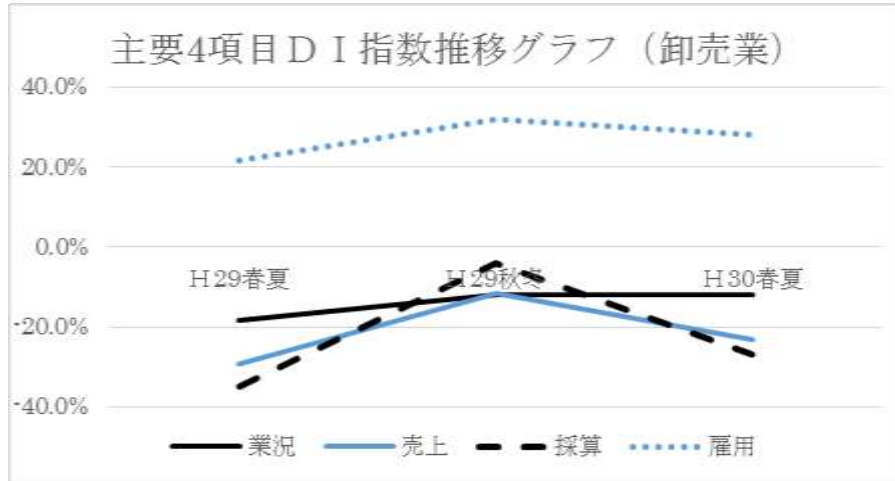
建設業

DI 指数をみると、「業況」は、今秋冬期は▲4 と前回春夏期と比較すると同水準である。個別指標をみると「売上」が同じく 14 ポイント良化し、「採算」は同じく▲3 ポイント悪化している。「取引の問合せ」は同じく回復しているものの「従業員」は同じくプラス 35 以上の人手不足が続いている。このことが業況好転のネックになっている。



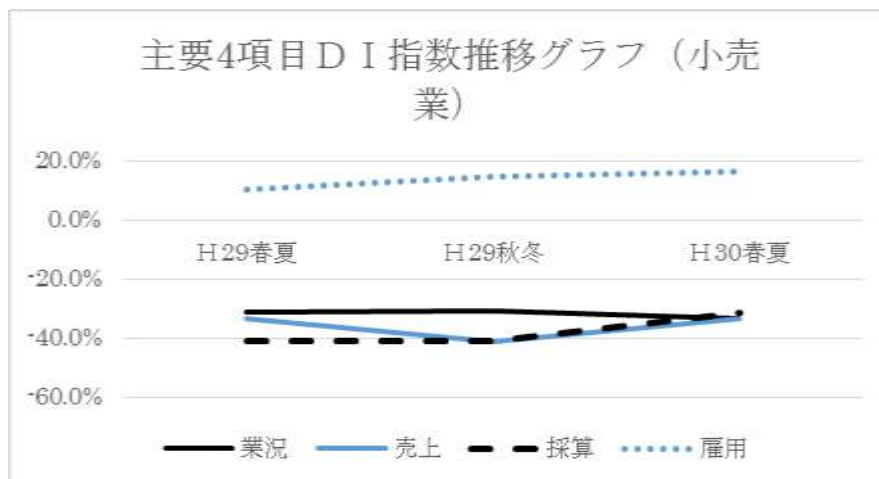
卸売業

DI 指数をみると、「業況」は、今秋冬期は▲12 と前回春夏期と比較すると 6 ポイント改善している。個別指標をみると「売上」が同じく 17 ポイント改善し、「採算」は同じく 31 ポイント大幅改善している。「従業員」は同じく▲10 ポイント悪化し人手不足になっている。



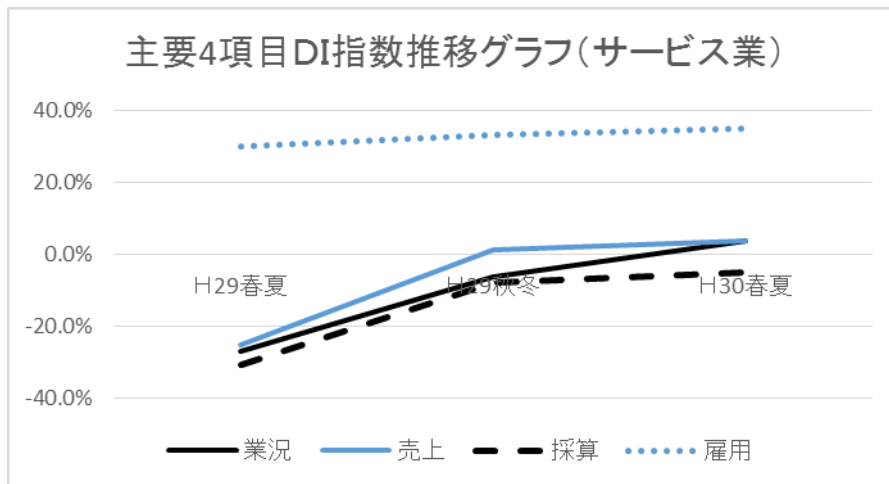
小売業

DI 指数をみると、「業況」は、今秋冬期は▲31 と前回春夏期と比較すると同水準の厳しい状況である。個別指標をみると「売上」が同じく▲8 ポイント悪化して▲41、「採算」は前回と同水準の▲41 である。ネット販売業者や他地域の大手小売業者との商圏外競争や商圏内競争の激化によるとみられる。「従業員」は+15 で他の業種に比べると人員不足感は高くない。



サービス業

DI 指数をみると、「業況」は、今秋冬期は▲6 と前回春夏期と比較すると 21 ポイント改善した。個別指標をみると「売上」が同じく 26 ポイント改善して+1、「採算」は同じく 23 ポイント改善して▲8 となった。一方、「従業員」は同じく +30 以上の人手不足が続いており経営を圧迫している。

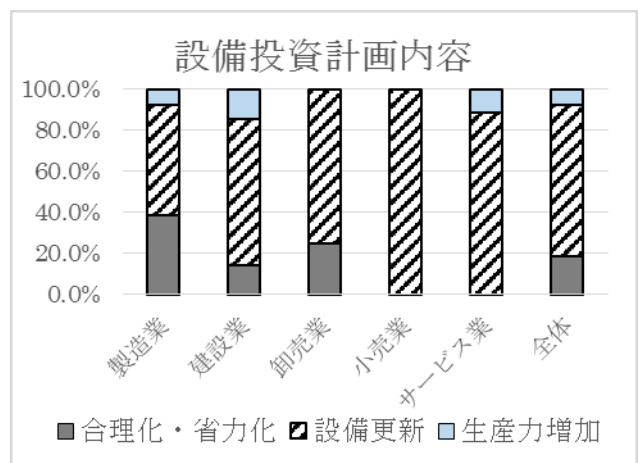
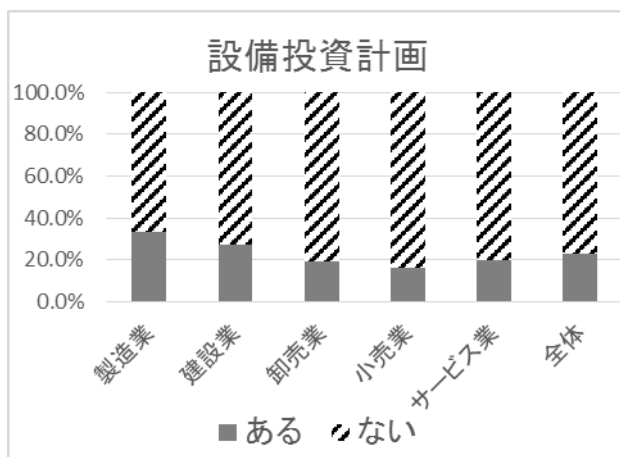


平成 30 年春夏期の業況判断D I は平成 29 年秋冬期の▲6 から▲4 へとマイナスながら引き続き改善すると見込んでいる。

個別指標をみると、「売上」は▲3 から▲7 とやや悪化し「採算」は▲8 から▲11 とやや悪化を見込んでいる。「従業員」も+30 の同水準で人員不足が続くとみている。

業種別では、建設業とサービス業がプラスに転じ、製造業はマイナスに戻り他の業種もほぼ今期位のマイナスになると見込んでいる。全業種で人手不足が続くとみており、特に建設業、サービス業等において深刻である。雇用問題が先行きの懸念材料になっている。

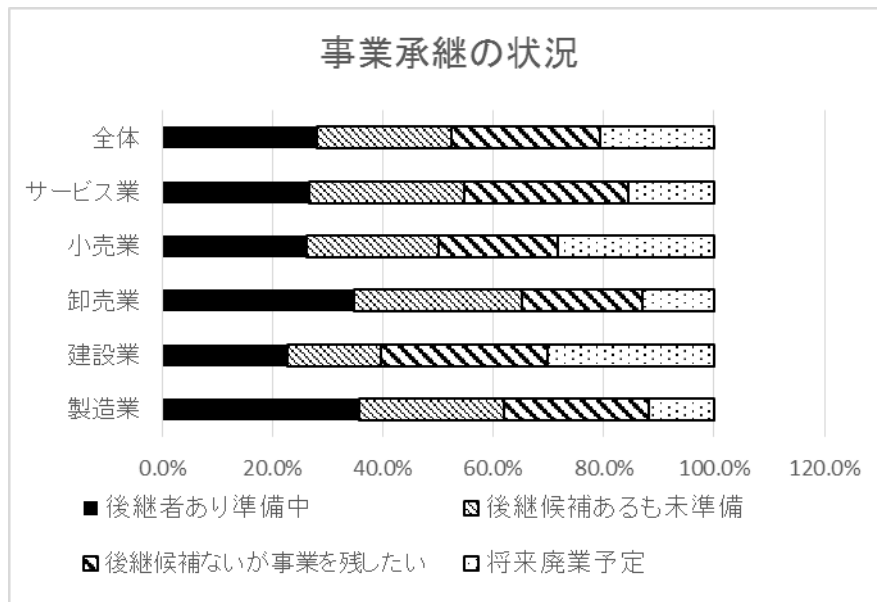
平成 30 年春夏期の設備投資については、設備投資計画があると回答した企業の割合は平成 29 年秋冬期から 4 ポイント増えて 23%であった。業種別にみると、景況感を反映して製造業が最も高く 33%、次いで建設業の 27%、サービス業が 20%、卸売業が 19%であった。小売業は 16%と少なかった。計画内容をみると「設備更新」が 74%で圧倒的に多く、「合理化省力化」18%、「生産力増加」8%であった。製造業で将来の人手不足に備える「合理化省力化」が比較的が多かった。「景気により見直すか」の問いには「計画どおり行う」が 58%であり、やや慎重な姿勢がみられた。



設備投資計画が比較的少ないのは、米国のトランプ政権運営の行方や北朝鮮の動向、世界的な金融緩和政策の見直しによる株価への影響等から、景気の長期展望が読み難い中で、投資に慎重になっているためと思料される。

今回のスポット質問として、「事業承継の状況」について尋ねた。

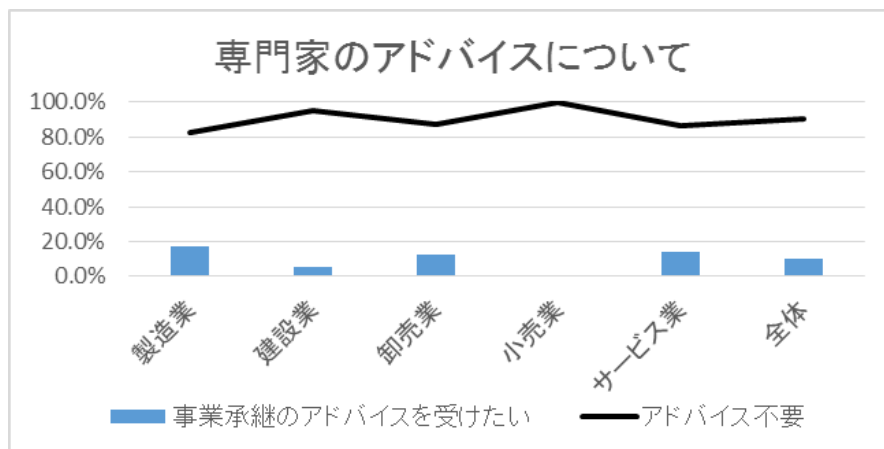
その結果、「後継者あり準備中」は全体の28%で、製造業、卸売業では約35%あった。「後継者候補あるが計画は未だ」は、全体の24%で、卸売業、サービス業で約30%あった。「現在後継者候補はいないが事業は継承したい」が全体の27%で、建設業、サービス業で約30%あった。一方、「将来は廃業の予定」が全体の21%あり、建設業、小売業で約30%あった。製造業、卸売業では約12%と少なく、早くから事業承継の準備をしているところは廃業しなくてもよいともいえる。



また、「事業承継について、専門家にアドバイスを受けたいか」についても尋ねた。

その結果、「アドバイスを受けたい」は全体の10%であった。業種別では、製造業、サービス業、卸売業が10数パーセントで比較的高く、事業承継に関心の高いところが専門家の助言を求めていることが分かった。

事業承継には経営、税務、法務等の専門的知識が必要で、長期的観点から計画づくりをする必要があり、まずは商工会議所等の中小企業支援機関に相談されることをお勧めします。



田中マネジメント事務所
MBA・中小企業診断士 田中清行

DI 指数一覧表

	業 況		売 上 高		採 算	
	H29 秋冬期 動 向	H30 春夏期 見 通 し	H29 秋冬期 動 向	H30 春夏期 見 通 し	H29 秋冬期 動 向	H30 春夏期 見 通 し
全 体	▲5.5	▲3.7	▲2.5	▲6.9	▲8.1	▲11.4
製 造 業	12.5	▲4.2	18.8	2.1	14.3	▲10.4
建 設 業	▲3.6	10.7	1.8	▲3.5	▲8.9	▲3.6
卸 売 業	▲12.0	▲12.0	▲11.5	▲23.1	▲4.0	▲26.9
小 売 業	▲30.6	▲33.3	▲41.2	▲33.3	▲41.2	▲31.3
サービス業	▲6.3	3.7	1.3	3.7	▲7.7	▲4.9

	採算（経常利益）の水準		取引の問い合わせ		従 業 員	
	H29 秋冬期 動 向	H30 春夏期 見 通 し	H29 秋冬期 動 向	H30 春夏期 見 通 し	H29 秋冬期 動 向	H30 春夏期 見 通 し
全 体	15.7	15.6	▲7.0	▲6.0	29.5	30.1
製 造 業	46.9	34.8	10.2	6.3	28.6	29.2
建 設 業	16.1	10.7	0.0	▲7.1	35.1	36.8
卸 売 業	3.8	7.7	▲15.4	▲19.2	32.0	28.0
小 売 業	▲6.1	8.3	▲32.0	▲25.5	14.6	16.7
サービス業	7.6	10.3	▲6.6	2.7	33.3	35.0

	資金繰り		長期資金借入難易度		短期資金借入難易度	
	H29秋冬期 動向	H30春夏期 見通し	H29秋冬期 動向	H30春夏期 見通し	H29秋冬期 動向	H30春夏期 見通し
全 体	0.7	▲1.1	8.6	8.3	15.2	▲0.3
製 造 業	6.1	4.2	25.0	19.6	25.0	21.3
建 設 業	8.8	7.0	16.7	14.8	22.2	6.9
卸 売 業	▲4.0	0.0	▲13.0	▲8.7	▲4.5	▲28.6
小 売 業	▲12.0	▲14.6	6.5	11.4	17.4	3.8
サービス業	▲2.6	▲5.1	1.4	0.0	11.0	▲8.0

八日市商工会議所

〒527-0021

滋賀県東近江市八日市東浜町1-5

TEL : 0748-22-0186

FAX : 0748-22-0188

URL <http://www.odakocci.jp>